

第 3 学年選択英語科学習指導案

場所 コンピュータールーム
日時 平成 14 年 12 月 3 日
第 5 校時 (13:40~14:30)
指導者 松本 光正

1. 題材観 「e-mail で Communication Writing にチャレンジ」

2. 題材について

(1) 生徒観

3 年選択英語は全体的に落ち着きの無いクラスである。平常英語授業でも授業に対して比較的積極的な生徒もいるが、中には英語に興味・関心・意欲が無い生徒もいる。週 1 回の授業ということもあり、前時の学習内容はほとんど忘却されていることが多く学習内容の定着度は低い。また、忘れ物も多い。

選択英語ではパソコンを用いて、今後ますます身近になる e-mail でコミュニケーションライティングしながら表現力を伸ばすことをねらいとしている。生徒の中には、技術家庭科等で多用しているパソコンに熟達し、「キーボード操作」や「アプリケーションソフト使用」等のコンピュータリテラシーに関しても、順応性が予想以上に早い者もいる。全体的にパソコン使用には興味・関心が高いが英語・制限作文や課題作文には余り興味関心を示さない。

(2) 題材観

「ライティングはコミュニケーションを意識して指導されなければならない。」しかし、現状は和文英作の域を脱することなく、生徒の「書くこと」に対する興味・関心・意欲は損なわれている。そこで本選択英語では自己表現や Creative Writing など、生徒の伝えようとする態度を生かした活動を重視し、発展的な選択英語科 Writing 指導を試みている。

(3) 指導観

ア、Interactive であること

伝える相手があり、伝える内容があり、相手からのフィードバックが必要である。

イ、Display よりも Referential であること

答えが 1 つに決まっているような Display 活動ではなく、個人により内容が異なり、伝えることに意味のある Referential な活動であること。

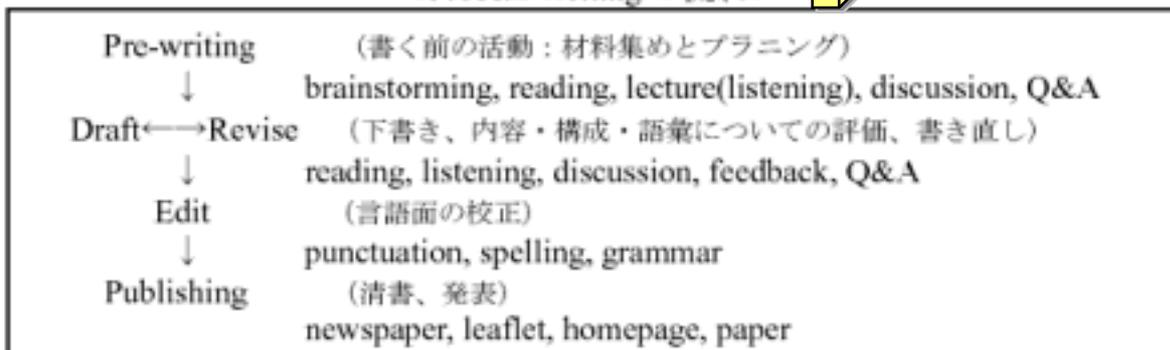
ウ、Accuracy よりも Fluency

言語的正確さより、内容の伝達度を重視する。

エ、Product よりも Process

書くことの活動には、もともと内容の着想や整理、下書き、評価、書き直し、校正といったプロセスがあり、それぞれのストラテジーを学ぶことにより、自らの力で書く能力を身につける。(下図参照)

<Process Writing の流れ>



3. 指導目標

- (1) 英文で「書くこと」に興味・関心・意欲を抱く(興味・関心・意欲・態度)
- (2) 手紙文の書体を意識して書く(言語・文化の知識理解)
- (3) 本文(内容)が生徒個人的に Referential なもので、且つ Authentic なものとする(表現の能力)(理解の能力)
- (4) Greeting Card としてのレイアウト・デザインを意識する

4. 指導計画

- ・ 週1回且つ不定期な授業のため、年間指導計画を柔軟に扱いつつ学習内容を繰り返す。

5. 本時の指導

- (1) 目標：
 - ア、英文で「書くこと」に対する興味・関心・意欲をもつ
 - イ、Referential な内容のクリスマスカードを JTE に校正してもらい、AET に送信する
- (2) 過程

	項目	生徒の活動	指導・評価の留意点	評価規準・評価基準 (A=十分に満足できる、B=概ね満足できる)・評価法	補助教材
3 min'	・挨拶、説明	本時の学習内容について説明を聞く	短時間で効率良く行う	傾聴できる(態度) AB	Pc-Semi ハットホ
5 min'	・前時までの復習	掲示板で e-mail の書式や「書き出し」「結び」等の特有の表現を学ぶ。	書き出し・結びの表現を Repeating する / 時間をかけすぎない	傾聴できる(態度) AB 観察法	'Pc-Semi' ハットホ 'STUDY-NOTE' 辞書
5 min'	・本時の学習内容確認	掲示板にアクセスして本時の学習内容を確認する。	時間内で掲示板閲覧を終わりにする	掲示板の内容が理解できる(理解) AB 観察法	↓
25 min'	・メール作成	AET との共通点や話題を見出し、個人的な内容でコミュニケーションを意識した英文を作成する	内容が大切であることを知らせる	*書式に則って書いているし内容も満足できる場合 A、書式に則っているが内容的に Referential でない場合 B (表現) 観察・分析法	
10 min'	・Draft チェック	英文が完成した段階で JTE に校正してもらい、必要に応じて訂正をする	語彙・文法的な誤りよりも本文内容が今までより Referential で Creative であるかを重視する	時間内に Draft を校正できる(態度/言語文化の知識理解) AB 観察・分析法	
3 min'	・書く前の活動、連絡	他校から送られたメールを読んで、返信の準備をする	宿題として返信内容を考えてくるように示唆する		プリント類

6. 備考:

- ・ 選択英語 (Writing クラス) 男子 15 名 女子 15 名 計 30 名
- ・ AET にもメールの内容をチェックしてもらい (上記アタリシの評価規準・基準を使う)
- ・ 本年度担当選択英語、3年 Debate クラス、3年 Reading クラス、2年 Skit クラス、2年 E-mail クラス